



会派に属さない議員
奥津 一俊 議員

○管理不全空家の対応について ○公共施設管理の縮充などに 対する連携について



問 管理不全空家の所有者などに対し、利活用処分・解体などの道を探るため、定期的な専門家による相談会の開催と相談窓口の開設は。

答 定期的な専門家による相談会の開催や相談に関する民間事業者との更なる連携の強化は、県や他市町村と情報交換を行いながら検討します。

問 火山泥流が想定される水道施設の安全・安心を確保するため、留意すべき事項は。

答 災害対応マニュアルで各施設の被災時の対応を定め、定期的なマニュアルの見直しと訓練を実施しています。

問 放課後児童クラブと小学校、保育所や幼稚園自治会および民生委員・児童委員などの情報共有連携は。

答 児童の安全・安心な居場所づくりの観点から、利用ニーズに応じ、ハード面での地域資源の活用やソフト面での地域人材の活用などを推進し、放課後児童の健全育成に努めます。

問 滝沢市公共施設等総合管理計画に含まれない公民館、集会所などに対する取り組みは。

答 各自治会からの要望をもとに、修繕の規模に応じて、自治公民館整備補助事業などの補助制度を活用し、緊急性や安全性を優先して継続的に支援しています。

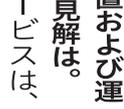
問 一滝沢市公共施設等総合管理計画に含まれない公民館、集会所などに対する取り組みは。

答 児童の安全・安心な居場所づくりの観点から、利用ニーズに応じ、ハード面での地域資源の活用やソフト面での地域人材の活用などを推進し、放課後児童の健全育成に努めます。



日本共産党
川口 清之 議員

○子どもの医療費助成について ○年金で入居できる 特養ホームについて等



問 高校生等までの子ども医療費の完全無償化の考えは。

答 子育て支援や少子化対策の観点から、本市でも3歳未満児の所得制限の撤廃、3歳以上の未就学児の受給者負担額を県の半額とする等、独自の見直しをしてきました。

問 市内の特別養護老人ホームでの人手不足の状況は。

答 市が指定する地域密着型サービス事業所などに対して行う運営指導の際に、人員確保に苦勞している事業所もあることを把握しています。

問 施設の設置および運営に対する市の見解は。

答 施設系サービスは、生活保護を受給している方や非課税世帯の方が利用する場合、所得に応じた自己負担限度額の適用を受けることができます。

問 子どもの医療費助成について

答 子育て支援や少子化対策の観点から、本市でも3歳未満児の所得制限の撤廃、3歳以上の未就学児の受給者負担額を県の半額とする等、独自の見直しをしてきました。

問 市内の特別養護老人ホームでの人手不足の状況は。

答 市が指定する地域密着型サービス事業所などに対して行う運営指導の際に、人員確保に苦勞している事業所もあることを把握しています。



会派に属さない議員
藤原 治 議員

○過去の開発団地内道路と 市道認定について等



問 個人所有のまま認定している団地の数は。

答 宅地開発指導要綱による協定後、個人所有のまま認定されている市道は20件ほどあります。

問 購入者の責任ではなく、開発業者の手続きミス等で登記されなかったことが想定される。救済策があっても良いのでは。

答 道路用地を市に無償で寄附することが困難なものを市道認定することは、道路の管理上支障を

問 過去の開発団地内道路と市道認定について等

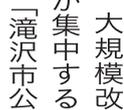
答 宅地開発指導要綱による協定後、個人所有のまま認定されている市道は20件ほどあります。

問 購入者の責任ではなく、開発業者の手続きミス等で登記されなかったことが想定される。救済策があっても良いのでは。



市民クラブ
山谷 仁 議員

○総合福祉センター(仮称) 建設の検討について ○市が所有、管理する 施設について



問 昨年2月、市内21福祉関係団体から要望書が出された。同年9月会議では、滝沢市社会福祉協議会やその他関係団体との協議、聞き取り等が大

問 総合福祉センター(仮称)建設の検討について

答 昨年2月、市内21福祉関係団体から要望書が出された。同年9月会議では、滝沢市社会福祉協議会やその他関係団体との協議、聞き取り等が大

問 市が所有、管理する施設について

答 昨年2月、市内21福祉関係団体から要望書が出された。同年9月会議では、滝沢市社会福祉協議会やその他関係団体との協議、聞き取り等が大

問 総合福祉センター(仮称)建設の検討について

答 昨年2月、市内21福祉関係団体から要望書が出された。同年9月会議では、滝沢市社会福祉協議会やその他関係団体との協議、聞き取り等が大



日本共産党
仲田 孝行 議員

○自衛隊への個人情報の 提供について



問 憲法第13条は、すべての国民のプライバシー保護をうたっている。自衛隊員の新規募集で対象者の個人情報の提供が始まった時期は。

答 平成25年度に市行政情報公開個人情報保護運営委員会の答申を受け、同年度から紙媒体での提供を行ってきました。

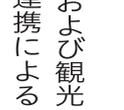
問 自衛隊への個人情報の提供について

答 平成25年度に市行政情報公開個人情報保護運営委員会の答申を受け、同年度から紙媒体での提供を行ってきました。



公明党
小田島 清美 議員

○不登校児童生徒について ○観光形成による交流人口の 増加について等



問 不登校児童生徒の増加をどのように受け止めているか。

答 近年増加傾向にあり非常に危惧しています。不安や悩みを相談できない子どもたちがいる可能性や、一人で抱え込む可能性を考慮する必要があります。

問 不登校児童生徒について

答 近年増加傾向にあり非常に危惧しています。不安や悩みを相談できない子どもたちがいる可能性や、一人で抱え込む可能性を考慮する必要があります。



問 タブレット端末を使った学習参加は。

答 ドリル学習や調べ学習に取り組んでいます。オンラインでの配信は、

問 タブレット端末を使った学習参加は。

答 ドリル学習や調べ学習に取り組んでいます。オンラインでの配信は、

「教育問題」の目次



自由民主クラブ
鍵本 桂 議員

○指名競争入札の地域要件と最低制限について ○世代間格差の是正について等



問 現在市が行っている指名競争入札だが、他市町村では地域要件を盛り込み、地域業者のみ指名する工事が一定割合ある場合や、地域に本社をおいている業者のみ指名する市がある。

答 競争性・公平性・経済性のバランスを検討して運用しており、市内業者に不公平を強いている認識はありません。

問 少子化対策や現行の社会保障制度の負担を将来へ先送りしてきたことから、生まれた時代が違っても30年前と現在の働き世代では働いた対価に不公平が生じている。

答 この世代間格差を是正すべく、高価な学校指定体操着や制服の購入費を補助して負担軽減する考えは。



滝政会
井上 仁 議員

○令和6年度予算編成について ○防災対策について等



問 市長公約などの成果と評価は。

答 市民の皆様のご意見を踏まえ、5つの視点で事業を進める基盤が構築できました。

問 第1次滝沢市総合計画の市長評価は。

答 幸福を育む環境づくりの基盤の取り組みは一定の成果が得られましたが、つながりとまちの賑わいの再構築が課題と捉えます。



滝政会
遠藤 秀鬼 議員

○市長選挙公約の実行実現について等



問 盛岡赤十字病院の誘致活動の進捗状況は。

答 市民が安心して元気に暮らしていくためには、医療提供体制の充実が不可欠なものであり、子どもから高齢者まで必要な時に必要な医療が受けられる環境をつくることは、使命であると考えます。



自由民主クラブ
村木 香織 議員

○第3次滝沢市食育推進計画について ○ごみ処理について等



問 1次・2次の食育推進計画の成果を踏まえ、現在の進捗状況は。

答 「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」「持続可能な食を支えるための食育の推進」「食の安全安心を守る食育の推進」の3つの目標を柱とし、これまでの取り組みに加え、よく噛んで食べる食習慣の形成や郷土料理・伝統料理等の食文化の継承の取り組みを進めます。

問 評価指標全27項目のうち、計画概要版冊子に示す主な6項目の取り組みは。

答 食に関する体験や教育を継続していくほか、食習慣や生活リズムの大切さを周知します。また、高齢者の介護予防教室における低栄養に



市民クラブ
齋藤 明 議員

○市政運営について ○教育の振興について



問 中小企業の振興対策の今後の展開は。

答 岩手県立大学に隣接するエリアに集約されたIT技術の強みを活かし、県立大学や市内事業者などと企業間・産学官連携に取り組めます。

問 地域における人材育成と今後の展開は。

答 地域づくりについて定期的に振り返りを行う場を設け、情報共有や意見交換を行う機会を創出し、郷土滝沢に愛着を持



自由民主クラブ
安部 理絵 議員

○子育て支援について



問 森林整備で出材する資源の持続的な活用策は。

答 森林環境譲与税を活用した事業を中心に進めており、森林の持つ多面的機能の持続的な発揮を期待します。

問 地域学校協働活動推進委員の具体的な活動は。

答 本市では、学校教育ウオーキングコースの看板や滝沢総合公園ふれあいの森の整備などで木材の活用を検討しています。

問 保育士確保のための学生への就職支援は。

答 保育士を志望する学生を対象に、保育士確保のための学生向け施設見学バスツアーを4年度から実施しています。



菅野 福雄 議員

○ふるさと納税について
○路線バスと地域公共交通網
形成計画について等



【問】ふるさと納税が大きく増収している自治体には、首長自ら企業を訪問しているところがある。本市でも企業訪問が必要では。

【答】市内企業を訪問した際や市長室に来訪される関係企業の皆様にご協力をお願いしています。

【問】特定大規模集客施設の完成に合わせた交通体系の見直しは。

【答】中心拠点商業地区の集客施設などが完成すれば、市内各地からの移動需要増が想定されるため、市内公共交通体系の見直しが必要です。現在、既存の路線バスを中心拠点商業地区を経由するルート変更について、バス事業者と協議しています。

【問】路線バスの減便に伴う市民の足の確保は。

【答】移動手段の無い交通弱者を中心とした市民の足の確保が課題であり、

【問】子ども総合計画は、総合的かつ計画的なアプローチによって、子ども達の権利やニーズが適切に考慮され、将来のリーダーや市民としての基盤が築かれることが期待される。

【答】本市は、元年度に子どもが安心して暮らせる環境づくりを基本理念とした「第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援施策を推進しています。

【問】子ども総合計画の必要性について

【答】本市は、元年度に子どもが安心して暮らせる環境づくりを基本理念とした「第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援施策を推進しています。



相原 孝彦 議員

○子宮頸がん
ワクチンについて
○盛土について等



【問】6年度に子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種期限を迎える対象年代の、未接種者全員に対する再通知は。

【答】接種案内を個別に通知しており、接種期限周知の再通知は行いません。

【問】子宮頸がん検診でのHPV検査自己検査キット導入の考えは。

【答】国の「がん検診のあり方に関する検討会」の議題に上げられており、今後検査の有効性や実施

【問】子ども総合計画は、総合的かつ計画的なアプローチによって、子ども達の権利やニーズが適切に考慮され、将来のリーダーや市民としての基盤が築かれることが期待される。

【答】本市は、元年度に子どもが安心して暮らせる環境づくりを基本理念とした「第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援施策を推進しています。

【問】子ども総合計画の必要性について

【答】本市は、元年度に子どもが安心して暮らせる環境づくりを基本理念とした「第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援施策を推進しています。



佐藤 澄子 議員

○子ども総合計画の
必要性について



【問】子ども総合計画は、総合的かつ計画的なアプローチによって、子ども達の権利やニーズが適切に考慮され、将来のリーダーや市民としての基盤が築かれることが期待される。

【答】本市は、元年度に子どもが安心して暮らせる環境づくりを基本理念とした「第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援施策を推進しています。

【問】子ども総合計画の必要性について

【答】本市は、元年度に子どもが安心して暮らせる環境づくりを基本理念とした「第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援施策を推進しています。

【問】子ども総合計画は、総合的かつ計画的なアプローチによって、子ども達の権利やニーズが適切に考慮され、将来のリーダーや市民としての基盤が築かれることが期待される。

【答】本市は、元年度に子どもが安心して暮らせる環境づくりを基本理念とした「第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援施策を推進しています。

【問】子ども総合計画の必要性について

【答】本市は、元年度に子どもが安心して暮らせる環境づくりを基本理念とした「第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援施策を推進しています。

令和5年11月会議(11月30日) 議案8件・発議1件を審議可決

★可決議案

議案第1号	5年度 一般会計補正予算(第7号)	4,146千円
議案第2号	5年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	△6,734千円
議案第3号	5年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	113千円
議案第4号	5年度 介護保険特別会計補正予算(第3号)	2,844千円
議案第5号	5年度 介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	193千円
議案第6号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	
議案第7号	常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	
議案第8号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	
発議第1号	議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正	

令和5年12月会議(12月7日~15日) 議案9件・同意1件を審議可決

★可決議案

議案第1号	5年度 一般会計補正予算(第8号)	183,213千円
議案第2号	5年度 介護保険特別会計補正予算(第4号)	2,494千円
議案第3号	5年度 水道事業会計補正予算(第1号) 支出ベース	13,822千円
議案第4号	5年度 下水道事業会計補正予算(第1号) 支出ベース	4,883千円
議案第5号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	
議案第6号	菓子駅複合交通施設設置条例の一部改正	
議案第7号	北部コミュニティセンターに関する指定管理者の指定	
議案第8号	市民福祉センターに関する指定管理者の指定	
議案第9号	5年度 一般会計補正予算(第9号)	358,361千円

★人事

同意第1号	固定資産評価審査委員会委員	三上 清幸氏	同意
-------	---------------	--------	----

★上記の内、賛否が分かれた議案

結果 ○賛成 ×反対			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	表決議員数	賛成票数	反対票数
※角掛邦彦議員は議長であるため、採決には加わりません。 ※川口清之議員は欠席です。			奥津一俊	菅野福雄	藤原治	佐藤澄子	柳橋好子	日向裕子	安部理絵	村木香織	川口清之	仲田孝行	小田島清美	相原孝彦	齋藤明	山谷仁	鍵本桂	井上仁	遠藤秀鬼	日向清一	稲荷場裕	角掛邦彦			
11月	議案第7号	常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	18	17	1
	発議第1号	議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正	○	×	○	○	×	×	○	○	欠	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	※	18	12	6
12月	議案第3号	5年度 水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※	19	17	2

★討論

発議第1号 議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正

【反対】 山谷仁 議員(市民クラブ) 市職員の給与に関する3つの条例改正議案は、市の慣例として人事院勧告に沿って改正したものと賛意を表しますが、議員側の条例は人事院勧告に沿った改正を行う必要がなく、まして物価高にあえぐ市民が多い状況から反対します。	【反対】 仲田孝行 議員(日本共産党) 今年の春闘やさまざまな労使交渉の中で、民間労働者が賃上げを勝ち取ったとはいえ、18か月連続実質賃金は下落しています。 このような中で議員報酬の増額は、多くの市民の理解を得ることはできませんので反対します。
【賛成】 奥津一俊 議員(会派に属さない議員) 人事院勧告を踏まえ、勤務に対する適正な対価、能率的な議会活動の維持、議員人材確保に資することおよびデフレ脱却に向けたチャンスが訪れている日本経済再生に不可欠な持続的な賃金上昇等を鑑み、賛成します。	【賛成】 相原孝彦 議員(公明党) 議員の期末手当は、人事院勧告に準じて支給割合を決めていますが、本市議会は独自の判断で勧告による改正を見送るなど、社会全般や本市の情勢を見た上で判断を行ってきており、この度の議案は承認すべきと考えます。